

重

次代を担う

「水素等環境関連産業育成・集積戦略」

点

山口県の瀬戸内沿岸地域には、次世代産業として発展が期待できる水素エネルギー等の環境関連分野に取り組む企業が集積しています。

本県の強みである水素の利活用や環境・エネルギー産業クラスターの形成等を進め、水素等環境関連産業の集積を図ります。

戦

プロジェクト

- ◇環境・エネルギー産業クラスターの形成
- ◇水素利活用による産業振興と地域づくり
- ◇再生可能エネルギーの導入促進

略

プロジェクト	No	環境・エネルギー産業クラスターの形成
	1	

目標	産学公や企業間連携による活発な研究開発・事業化の実現 ≪環境・エネルギー分野の事業化件数 4年間(平成25～28年度)で10件≫
----	---

現状と課題

- 優れた立地環境
 - ・ 瀬戸内沿岸地域に高い省エネ技術を有する基礎素材型産業の集積
 - ・ 環境・エネルギー関連などの高い機能性を有する素材・部材の供給基地
- 県内企業の環境・エネルギー分野の取組が活発化
- 研究開発、事業化に向けた更なる取組の加速化が必要

取組方針

- 環境・エネルギー産業クラスターの形成に向けて、全県的な推進体制により環境・エネルギー産業の育成・集積を促進します。
- 新たな研究開発や事業化を支援します。
- 研究開発機能を強化し、企業の先導的な取組をサポートします。
- 成長が期待される分野の企業の設備投資を支援するなど、重点的な企業誘致活動を展開します。

具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 全県的な推進体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産学公金が参画する「やまぐちイノベーション推進協議会」の運営 <input type="checkbox"/> 「環境・エネルギー産業クラスター構想」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国による地域イノベーション戦略推進地域の指定 ・ 国等の競争的資金の優先採択 ・ イノベーション推進センターの運営 <input type="checkbox"/> 新たな研究開発・事業化への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の活用 ・ スマートファクトリーモデルの整備 <input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的な研究開発拠点機能の整備 <input type="checkbox"/> 重点的な企業誘致活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 優れた立地環境を活かした戦略的な企業訪問の実施、情報発信等 				
	工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度
	全県的な推進体制の構築	『やまぐちイノベーション推進協議会』 ● 設置(6月)	運営(産学公・企業間連携による研究開発・事業化の促進)		→
	「環境・エネルギー産業クラスター構想」の推進	『環境・エネルギー産業クラスター構想』 策定(4月)	● ● 国による地域イノベーション戦略推進地域の指定等(7月) ● 国等の競争的資金の優先採択 ● 設置	イノベーション推進センターの運営	→

工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	新たな研究開発・事業化への支援	『やまぐち産業戦略研究開発等補助金』 創設(10月)		研究開発・事業化の促進		
		スマートファクトリー構想策定			整備	県内工場への展開
	研究開発機能の強化	要望(6月、11月) 産業技術センター	要望(6月) 第2期中期計画の策定(3月)		先進的な研究開発拠点機能の整備	
重点的な企業誘致活動の展開	優れた立地環境を活かした戦略的な企業訪問の実施 企業誘致ウェブサイトや専門紙等による情報発信					

これまでの取組成果

- 「環境・エネルギー産業クラスター構想」の策定(H26.4)
- 「地域イノベーション戦略推進地域」の選定、「地域イノベーション戦略支援プログラム」の採択(H26.7)
- 「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の創設(H25.10)及び採択(8件)
- 政府要望(H25.6、H25.11、H26.6)
- 「産業技術センター第2期中期計画」の策定(H26.3)

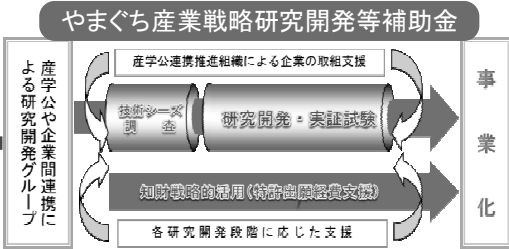
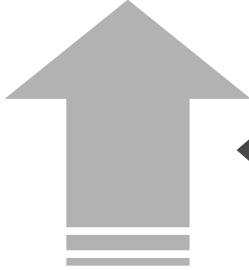
事業の概要

環境・エネルギー産業クラスターの形成

重点的な企業誘致

イノベーション創出分野

- 地域エネルギー創造** エネルギー創出に関する技術開発等
- 地域エネルギー貯蔵・利活用** 水素等の利活用技術の開発等
- 省エネルギー・環境負荷低減** 省エネルギーに関する技術開発等



やまぐちイノベーション推進協議会

山口県経営者協会
山口経済同友会
山口県商工会議所連合会
山口県商工会連合会
山口県中小企業団体中央会

産学公金の連携
やまぐち産業振興財団
山口県産業技術センター
山口県

山口大学
山口東京理科大学
山口県立大学

㈱山口銀行
㈱西京銀行
㈱日本政策投資銀行

イノベーション推進センター(環境・エネルギー推進チーム)

プロジェクトプロデューサー
(全体のマネジメント) 民間企業から招聘

サブリーダー
(競争的資金獲得支援等)

コーディネータ
(企業・大学等訪問、マッチング活動)

※山口県産業技術センター内に設置

プロジェクト	No	水素利活用による産業振興と地域づくり
	2	

目標	瀬戸内コンビナート生成の水素を活かした「水素先進県」の実現 ≪液化水素ステーションの誘致≫ ≪水素利活用による事業化件数 4年間(平成25～28年度)で6件≫ ≪水素利活用によるスマートコミュニティモデルの創出≫
----	---

現状と課題

- 瀬戸内コンビナートにおける大量かつ高純度の水素の生成
- 中・四国、九州地方で初となる液化水素製造工場の操業開始(平成25年6月)
- 水素を活用した本県産業の振興や地域づくりが課題

取組方針

- 液化水素ステーション等水素利活用の基盤となる水素供給インフラの整備を促進します。
- 水素利活用の研究開発や事業化、水素の多角的な利用を促進し、産業振興を図ります。
- 水素利活用による地域づくりを進めます。

具体的な取組

◆水素供給インフラの整備促進

取組	<input type="checkbox"/> 「液化水素ステーション」の誘致等				
工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	液化水素ステーションの誘致等	●● 要望(6月、11月) ● 事業者による 国庫補助金申請	● 要望(6月) ● 採択(県内初の誘致決定)(4月) ● 水素ステーション設置促進に向けた要望等	● 設置・操業	→

◆水素利活用による産業振興の推進

取組	<input type="checkbox"/> 水素利活用の研究開発・事業化への支援 ・「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の活用 <input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 ・先進的な研究開発拠点機能の整備				
工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	水素利活用の研究開発・事業化への支援	『やまぐち産業戦略研究開発等補助金』 ● 創設(10月)	● 研究開発・事業化の促進	→	→
	研究開発機能の強化	●● 要望(6月、11月) ● 産業技術センター の策定(3月)	● 要望(6月) ● 第2期中期計画	● 先進的な研究開発拠点機能の整備	→

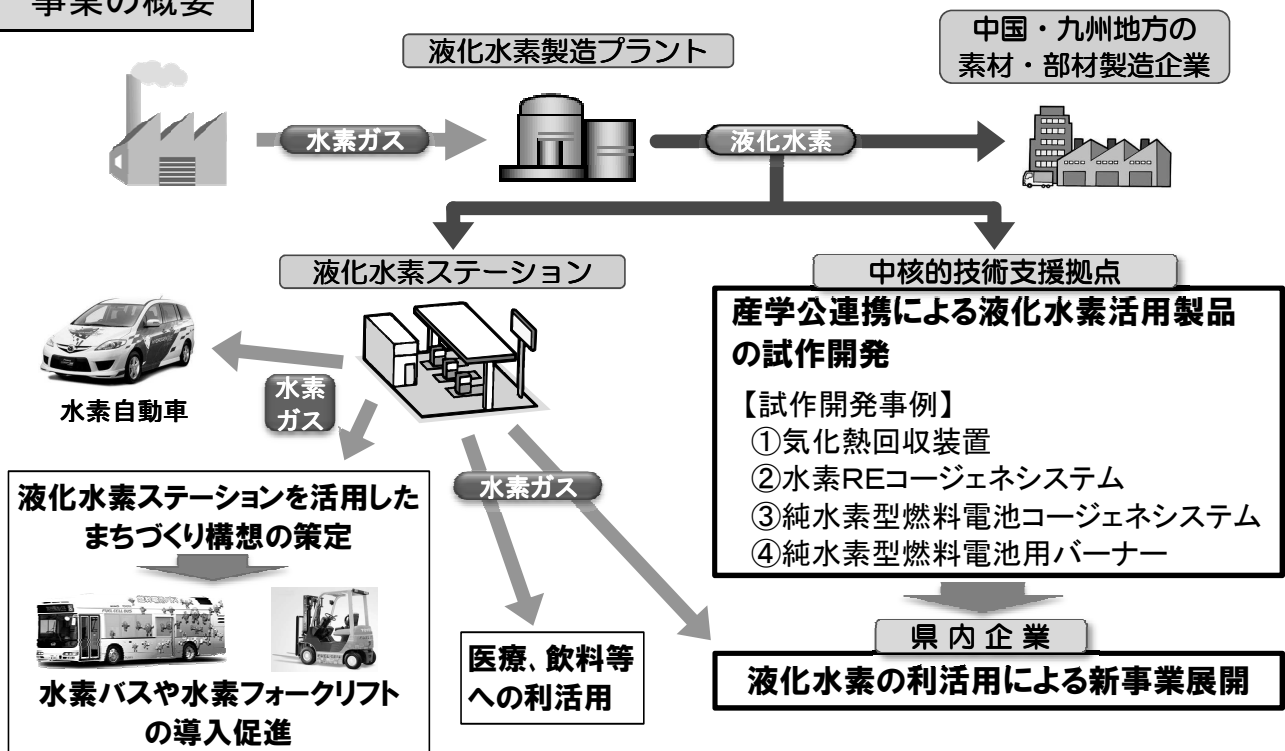
◆ 水素利活用による地域づくりの促進

取組	<input type="checkbox"/> 全県的な推進体制の構築 ・「やまぐち水素成長戦略推進協議会」の設置・運営 <input type="checkbox"/> 水素ステーションを核とするまちづくりモデルの普及 <input type="checkbox"/> 水素利活用のための環境整備 ・保安基準の制定要望や水素インフラ整備に対する支援制度の創設など <input type="checkbox"/> 燃料電池自動車やバス、公共施設や集合住宅等への燃料電池の導入促進				
	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	全県的な推進体制の構築	『やまぐち水素成長戦略推進協議会』	● 設置・運営		→
	水素ステーションを核とするまちづくりモデルの普及	『周南市水素利活用構想』 周南市での策定支援	● 策定(4月)	● 県内他市町への普及	→
	水素利活用のための環境整備	● 要望(6月、11月)	● 要望(6月) 保安基準の制定や支援制度の創設	● 支援制度等を活用した地域づくり	→
	燃料電池自動車や公共施設等への燃料電池の導入促進	● 要望(6月、11月)	● 要望(6月)	● 創設 支援制度等を活用した導入促進	→

これまでの取組成果

- 液化水素ステーションの誘致(H26.4)
- 「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の創設(H25.10)
- 政府要望(H25.6、H25.11、H26.6)
- 「産業技術センター第2期中期計画」の策定(H26.3)
- 「周南市水素利活用構想」の策定(H26.4)
- 水素の多角的利用(水素水)

事業の概要



プロジェクト	No	再生可能エネルギーの導入促進
	3	

目標	再生可能エネルギーの導入促進による産業振興 ≪再生可能エネルギーの発電出力 平成28年度 56万6千kW（平成23年度比 1.5倍）≫ ≪EV急速充電器の設置数 平成28年度 90基（平成24年度 23基）≫
----	---

現状と課題

- 資源の枯渇のおそれや地球温暖化が進行する中、再生可能エネルギーの導入を最大限に加速化することが必要
- 本県には、再生可能エネルギー関連の製品・部材・素材または技術を有する企業が集積しており、地域のポテンシャルを活かす取組が必要

取組方針

- 太陽光・太陽熱・地中熱・森林バイオマスエネルギーの利用や小水力発電による再生可能エネルギーの導入を促進します。
- 電気自動車(EV)の導入促進を図るため、充電インフラの整備促進に努めます。

具体的な取組

取組	<ul style="list-style-type: none"> □ 環境やまぐち推進会議による取組の推進 □ 太陽光・太陽熱・地中熱・森林バイオマスエネルギーの利用や小水力発電による再生可能エネルギーの導入促進 □ EV等次世代自動車・インフラの導入促進 				
工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	環境やまぐち推進会議による取組の推進	● 再生可能エネルギー部会の設置(11月)	● 関係機関の連携による再エネの導入促進		→
	様々な再生可能エネルギーの導入促進				
	太陽光、太陽熱、地中熱エネルギーの導入促進	● 県産再エネ製品導入補助金の創設(4月)	● シンポジウムの開催(11月)	● シンポジウムの開催	● 県産再エネ製品の導入支援 シンポジウム、アドバイザー派遣等による普及啓発
森林バイオマスエネルギーの活用促進		● 森林バイオマス発電、木質ペレットボイラー等に利用する間伐材等の低コスト収集運搬システムの構築・定着化			→
		● 間伐材供給コスト支援、収集運搬用機器整備支援			→

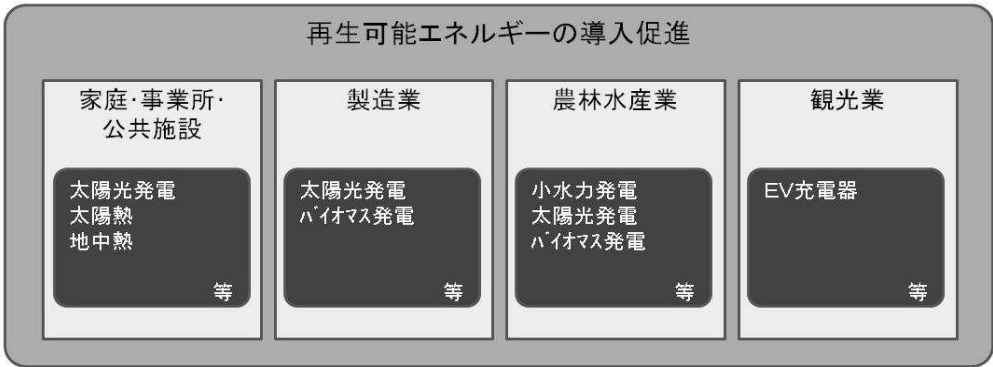
工程表	小水力発電の普及促進	相原発電所建設	稼働(5月)			
				宇部丸山発電所建設	稼働	
		小水力発電導入ガイドブックの作成(3月)			小水力発電開発技術支援	
					農業水利施設を活用した小水力等発電マスタープランの策定(4月)	
		農業水利施設を対象とした候補地の調整(18ヶ所)	発電施設の経済性の検討(6ヶ所)		発電施設の整備	
		2基設置(3月)		簡易型小型水力発電モデル事業		
	EV等次世代自動車・インフラの導入促進	整備計画の策定(5月)			EV急速充電器90基設置	
				県有施設へのEV急速充電器の設置・運用(5ヶ所)		
			シンポジウム・体験会の開催		EV普及啓発	

これまでの取組成果

- 「環境やまぐち推進会議 再生可能エネルギー一部会」の設置(H25.11)
- 「山口県産再生可能エネルギー関連設備導入支援事業補助金」の創設(H25.4) 及び採択(1,637件)
- 小水力発電:相原発電所の稼働(H26.5)
「小水力発電導入ガイドブック」の作成(H26.3)
農業水利施設を活用した小水力等発電マスタープランの策定(H26.4)
- EV等次世代自動車:「山口県EV充電インフラ整備計画」の策定(H25.5)

事業の概要

再生可能エネルギーの導入促進による産業振興



再生可能エネルギー関連の製品・部材・素材または技術を有する企業が集積

